

## 第9会場 (展示棟 会議室 1)

- 10:00～11:20 K01 和文誌編集委員会企画：JANS 和文誌の査読について考える  
○秋元 典子、浅野 みどり、荒木 暁子、石井 範子、和泉 比佐子、  
江川 幸二、大塚 真理子、落合 亮太、小野 智美、片岡 弥恵子、  
河野 あゆみ、国府 浩子、佐伯 圭一郎、佐伯 由香、酒井 明子、  
清水 安子、鈴木 みずえ、田中 美智子、長谷川 真澄、春名 めぐみ、  
真嶋 朋子、三木 明子、宮下 光令、森本 美智子、吉沢 豊予子、  
吉田 俊子、山中 純瑚  
JANS 和文誌編集委員会
- 11:30～12:50 K02 無限に広がる看護の可能性を具現化するために！ーキャリアデザインと  
キャリアドリフトの波を乗りこなすコツ  
○坂井 志織<sup>1,2</sup>、濱吉 美穂<sup>1,3</sup>、岩國 亜紀子<sup>1,4</sup>、丸尾 智実<sup>1,5</sup>、  
鳥本 靖子<sup>1,6</sup>、大澤 絵里<sup>1,7</sup>、綿貫 成明<sup>1,8</sup>、西村 ユミ<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>JANS 若手研究推進委員会、<sup>2</sup>首都大学東京健康福祉学部、  
<sup>3</sup>佛光大学保健医療技術学部、  
<sup>4</sup>兵庫県立大学地域ケア開発研究所周産期ケア研究センター、  
<sup>5</sup>甲南女子大学看護リハビリテーション学部、  
<sup>6</sup>国際医療福祉大学小田原保健医療学部、<sup>7</sup>国立保健医療科学院国際協力研究部、  
<sup>8</sup>国立看護大学校研究課程部看護学研究科
- 13:30～14:50 K03 看護学学術用語の検討ー2011年版の改訂に向けて  
○高田 早苗<sup>1,2</sup>、野嶋 佐由美<sup>1,3</sup>、小坂橋 喜久代<sup>1,4</sup>、大森 純子<sup>1,5</sup>、  
佐藤 和佳子<sup>1,6</sup>、川原 由佳里<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>JANS 看護学学術用語検討委員会、<sup>2</sup>日本赤十字看護大学、<sup>3</sup>高知県立看護大学、  
<sup>4</sup>京都橘大学、<sup>5</sup>東北大学大学院、<sup>6</sup>山形大学大学院
- 15:00～16:20 K04 Promoting Overseas Training in Nursing  
○杉本 敬子<sup>1,2</sup>、成瀬 和子<sup>1,3</sup>、柳澤 理子<sup>1,4</sup>、神原 咲子<sup>1,5</sup>、  
近藤 暁子<sup>1,6</sup>、近藤 麻理<sup>1,7</sup>、田代 順子<sup>1,8</sup>、中山 洋子<sup>1,5</sup>、南 裕子<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup>JANS 国際活動推進委員会、<sup>2</sup>筑波大学、<sup>3</sup>東京医科大学、<sup>4</sup>愛知県立大学、  
<sup>5</sup>高知県立大学、<sup>6</sup>東京医科歯科大学、<sup>7</sup>東邦大学、<sup>8</sup>聖路加国際大学

## 第10会場 (展示棟 会議室 2)

- 10:00～11:20 K05 地域での暮らしを最期まで支える人材育成の検討ー離島・へき地を  
フィールドとした教育プログラムからー  
○金子 美千代<sup>1</sup>、丹羽 さよ子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学医学部島嶼・地域ナース育成センター、<sup>2</sup>鹿児島大学医学部保健学科

11:30~12:50 K06 地域包括ケアシステムを支える人材育成と専門看護師ネットワークシステムとのシナジーモデルの構築

○中村 裕美子、岡本 双美子、榎木野 裕美、長畑 多代、志田 京子、  
細田 泰子、北村 愛子、渡邊 香織、松下 由美子、深山 華織、  
簇持 知恵子、田中 京子  
大阪府立大学大学院看護学研究科

13:30~14:50 K07 地元住民の砦となる小規模病院等の看護職のキャリア形成—大学との協働によるブレークスルー—

○菅原 京子<sup>1</sup>、佐藤 志保<sup>1</sup>、井上 京子<sup>1</sup>、後藤 順子<sup>1</sup>、樋谷 由美子<sup>1</sup>、  
高橋 直美<sup>1</sup>、今野 浩之<sup>1</sup>、遠藤 和子<sup>1</sup>、沼澤 さとみ<sup>1</sup>、安保 寛明<sup>1</sup>、  
渡邊 礼子<sup>1</sup>、齋藤 愛依<sup>1</sup>、豊嶋 三枝子<sup>2</sup>、前田 邦彦<sup>1</sup>、遠藤 恵子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形県立保健医療大学、<sup>2</sup>岩手保健医療大学

15:00~16:20 K08 群馬一丸で育てる地域完結型看護人材の育成—病院と大学の協働による地域完結型看護人材育成の取り組み—

○常盤 洋子<sup>1</sup>、中村 美香<sup>1</sup>、塚越 聖子<sup>2</sup>、高田 幸子<sup>2</sup>、今井 裕子<sup>2</sup>、  
金井 好子<sup>2</sup>、大谷 忠広<sup>2</sup>、富田 千恵子<sup>2</sup>、深澤 友子<sup>1</sup>、塚越 徳子<sup>1</sup>、  
箱崎 友美<sup>1</sup>、貞形 衣恵<sup>2</sup>、瀬沼 麻衣子<sup>2</sup>、坂口 知恵美<sup>2</sup>、神田 清子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>群馬大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>群馬大学医学部附属病院

第11会場（展示棟 会議室3）

10:00~11:20 K09 地域連携自己学習プログラムの開発ケアチームの「つながる力」「つなげる力」を強める人材育成

○本田 彰子<sup>1</sup>、菊池 和子<sup>2</sup>、炭谷 靖子<sup>3</sup>、正野 逸子<sup>4</sup>、荒木 晴美<sup>5</sup>、  
上野 まり<sup>6</sup>、栗本 一美<sup>7</sup>、平山 香代子<sup>8</sup>、王 麗華<sup>9</sup>、土平 俊子<sup>10</sup>、  
緒方 泰子<sup>1</sup>、山崎 智子<sup>1</sup>、内堀 真弓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医科歯科大学大学院、<sup>2</sup>岩手県立大学看護学部、<sup>3</sup>富山福祉短期大学、  
<sup>4</sup>産業医科大学産業保健学部、<sup>5</sup>中京学院大学看護学部、  
<sup>6</sup>湘南医療大学保健医療学部、<sup>7</sup>新見公立大学健康科学部、  
<sup>8</sup>亀田医療大学看護学部、<sup>9</sup>国際医療福祉大学保健医療学部、  
<sup>10</sup>田原市立田原福祉専門学校

11:30~12:50 K10 地域包括ケアシステムをめざした産学官連携による地域高齢者ケアサポートの開発

○馬場 みちえ、宮林 郁子、吉川 千鶴子、宗正 みゆき、大城 知子、  
石橋 曜子、上野 珠未  
福岡大学医学部看護学科

- 13:30~14:50 K11 生体リズムを看護に活用する  
 ○若村 智子<sup>1</sup>、尾崎 章子<sup>2</sup>、鏡山 浩美<sup>3</sup>、鷺見 尚己<sup>4</sup>、長島 俊輔<sup>1,5</sup>、  
 堀田 佐知子<sup>1</sup>、矢野 理香<sup>4</sup>、山下 舞琴<sup>1,6</sup>、吉田 祐子<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、  
<sup>2</sup> 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻、<sup>3</sup> 北海道拓北養護学校看護部、  
<sup>4</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院、<sup>5</sup> 日本学術振興会 特別研究員(DC1)、  
<sup>6</sup> 京都光華女子大学健康科学部看護学科
- 15:00~16:20 K12 看護における超音波診断装置(エコー)の活用可能性  
 ○相原 ひろみ、岡田 ルリ子、青木 光子、徳永 なみじ、谷本 淳子、  
 森 敬子、野本 百合子  
 愛媛県立医療技術大学

## 第12会場(展示棟 会議室4)

- 10:00~11:20 K13 患者と看護師による協働作業としての「会話(対話)」(動機づけ面接)を可視化し評価する  
 ○藤澤 雄太<sup>1</sup>、瀬在 泉<sup>2</sup>、大野 佳子<sup>3</sup>、久保田 聡美<sup>4</sup>、三瓶 舞紀子<sup>5</sup>、  
 近藤 千春<sup>6</sup>、小林 康江<sup>7</sup>、山本 晴美<sup>8</sup>  
<sup>1</sup> 国立看護大学校、<sup>2</sup> 防衛医科大学校医学教育部看護学科、  
<sup>3</sup> 城西国際大学看護学部、<sup>4</sup> 高知県立大学健康長寿センター特別研究員、  
<sup>5</sup> 国立成育医療センター社会医学研究部、  
<sup>6</sup> 藤田保健大学医療科学部看護学科精神看護学、  
<sup>7</sup> 山梨大学大学院総合研究部成育看護学講座、  
<sup>8</sup> 文京学院大学保健医療技術学部看護学科
- 11:30~12:50 K14 ‘政策型思考’が獲得できる看護教育を考える  
 ○池田 真理<sup>1</sup>、野村 陽子<sup>2</sup>、巴山 玉連<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 東京女子医科大学看護学部看護管理学、  
<sup>2</sup> 岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座、  
<sup>3</sup> 群馬県立県民健康科学大学看護学部機能看護学
- 13:30~14:50 K15 看護実践の改善・改革をめざす看護実践研究の探究：多様な実践現場と大学による共同研究の成果と今後の発展  
 ○会田 敬志、大川 眞智子、松下 光子、田辺 満子、小澤 和弘、  
 小森 春佳、黒江 ゆり子  
 岐阜県立看護大学看護研究センター
- 15:00~16:20 K16 「日本の現場発看護学」の構築を目指した事例研究方法の開発 第2報：質的研究方法との関連と科学性の検討  
 ○山本 則子<sup>1</sup>、齋藤 凡<sup>2</sup>、吉田 滋子<sup>1</sup>、山花 令子<sup>1</sup>、村山 陵子<sup>1</sup>、  
 辻村 真由子<sup>3</sup>、池田 真理<sup>4</sup>、柄澤 清美<sup>5</sup>、榊原 哲也<sup>1</sup>、野口 麻衣子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東京大学大学院、<sup>2</sup> 東京大学医学部附属病院、<sup>3</sup> 千葉大学大学院、  
<sup>4</sup> 東京女子医科大学、<sup>5</sup> 新潟青陵大学

第9会場 (展示棟 会議室1)

- 9:30~10:50 K17 自然の回復過程を調える看護の探究—統合医療における看護の位置づけを求めて  
○小山 敦代<sup>1</sup>、川嶋 みどり<sup>2</sup>、小坂橋 喜久代<sup>3</sup>、尾崎 フサ子<sup>4</sup>、  
西山 ゆかり<sup>5</sup>、相原 由花<sup>6</sup>、猪俣 千代子<sup>7</sup>、緒方 昭子<sup>8</sup>、岡田 朱民<sup>9</sup>  
<sup>1</sup> 聖泉大学看護学部看護学科、<sup>2</sup> 日本赤十字看護大学、  
<sup>3</sup> 京都橘大学看護学部看護学科、<sup>4</sup> 新潟リハビリテーション大学大学院、  
<sup>5</sup> 四條畷学園大学看護学部、<sup>6</sup> ホリスティックケアプロフェSSIONALスクール、  
<sup>7</sup> 札幌市立大学看護学部看護学科、<sup>8</sup> 森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科、  
<sup>9</sup> 佛光大学保健医療技術学部看護学科
- 11:00~12:20 K18 特定行為研修を修了した看護師がもたらすケアイノベーション  
○嶋森 好子<sup>1</sup>、秋山 智弥<sup>1</sup>、塚本 容子<sup>2</sup>、村上 礼子<sup>3</sup>、樋口 秋緒<sup>4</sup>、  
松月 みどり<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 岩手医科大学看護学部、<sup>2</sup> 北海道医療大学看護福祉学部看護学科、  
<sup>3</sup> 自治医科大学看護学部、  
<sup>4</sup> 医療法人北晨会 恵み野病院訪問看護ステーション「はあと」、  
<sup>5</sup> 愛知医科大学看護学部
- 13:00~14:20 K19 小児救急トリアージにおけるシミュレーショントレーニングとデブリーフィングの検討  
○森川 浩子<sup>1</sup>、任 和子<sup>2</sup>、内藤 知佐子<sup>3</sup>、井上 理恵<sup>4</sup>、山根 恵<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 福井大学学術研究院医学系部門看護学領域、  
<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻、  
<sup>3</sup> 京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター、  
<sup>4</sup> 福井大学医学部附属病院
- 14:30~15:50 K20 次世代型ケアを創出できる臨床看護師のリーサーチマインドを育む教育プログラムの開発  
○佐藤 富美子<sup>1</sup>、酒井 敬子<sup>2</sup>、神 裕子<sup>2</sup>、片倉 睦<sup>2</sup>、山内 泰子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻、<sup>2</sup> 東北大学病院

第10会場 (展示棟 会議室2)

- 9:30~10:50 K21 看護学と解剖生理学の Scientific Collaboration—教育、研究・ケア開発の現状と課題—  
○三國 裕子<sup>1</sup>、藤澤 珠織<sup>1</sup>、中島 由加里<sup>2</sup>、向井 加奈恵<sup>3</sup>、  
三浦 奈都子<sup>4</sup>、石田 陽子<sup>5</sup>、松田 友美<sup>5</sup>、荒川 満枝<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 青森中央学院大学看護学部看護学科、<sup>2</sup> 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科、  
<sup>3</sup> 金沢大学医薬保健研究域保健学系、<sup>4</sup> 岩手県立大学看護学部、  
<sup>5</sup> 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻、<sup>6</sup> 鳥取看護大学看護学部看護学科

- 11:00～12:20 **K22 相互浸透型キャリア支援モデルを基盤としたクリニカルコーチの育成**  
 ○原 三紀子<sup>1</sup>、佐藤 紀子<sup>1</sup>、小泉 雅子<sup>1</sup>、山内 典子<sup>2</sup>、松村 幸美<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東京女子医科大学看護学部、<sup>2</sup>東京女子医科大学八千代医療センター看護局、  
<sup>3</sup>東京女子医科大学東医療センター看護部
- 13:00～14:20 **K23 教育・医療現場における性的少数者・性の多様性への理解増進に向けて**  
 ○佐保 美奈子<sup>1</sup>、渡邊 香織<sup>1</sup>、中嶋 有加里<sup>1</sup>、古山 美穂<sup>1</sup>、山田 加奈子<sup>1</sup>、  
 高 知恵<sup>1</sup>、工藤 里香<sup>2</sup>、黒田 裕子<sup>3</sup>、小笠 幸子<sup>4</sup>、稲井 裕見子<sup>4</sup>、  
 上原 明子<sup>5</sup>、越智 奈穂美<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>大阪府立大学大学院看護学研究科、<sup>2</sup>京都橋大学、<sup>3</sup>徳島文理大学、  
<sup>4</sup>淀川キリスト教病院、<sup>5</sup>佐久大学、<sup>6</sup>城南学園中学高等学校
- 14:30～15:50 **K24 発達障害学生に対する合理的配慮とは**  
 ○師岡 友紀<sup>1</sup>、望月 直人<sup>2</sup>、荒尾 晴恵<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、  
<sup>2</sup>大阪大学キャンパスライフ健康支援センター

**第11会場（展示棟 会議室3）**

- 9:30～10:50 **K25 臨地実習において配慮が必要な学生に対する教育上の調整に関するFDプログラムの開発**  
 ○小川 純子<sup>1</sup>、飯岡 由紀子<sup>2</sup>、松岡 千代<sup>3</sup>、吉本 照子<sup>4</sup>、遠藤 和子<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>淑徳大学看護栄養学部、<sup>2</sup>埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科、  
<sup>3</sup>佛光大学保健医療技術学部、<sup>4</sup>千葉大学大学院看護学研究科、  
<sup>5</sup>山形県立保健医療大学保健医療学部
- 11:00～12:20 **K26 若手看護教師力向上プロジェクト(第4弾)～ちょっと気になる学生の支援のイロハを考えよう～**  
 ○増満 誠<sup>1</sup>、上田 智之<sup>2</sup>、中本 亮<sup>1</sup>、池田 智<sup>3</sup>、葛原 誠太<sup>4</sup>、松村 智大<sup>4</sup>、  
 森 雄太<sup>5</sup>、有安 直貴<sup>6</sup>、木村 涼平<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>福岡県立大学看護学部看護学科、<sup>2</sup>宮崎県立看護大学、  
<sup>3</sup>福岡大学医学部看護学科、<sup>4</sup>産業医科大学産業保健学部看護学科、  
<sup>5</sup>国際医療福祉大学福岡看護学部、<sup>6</sup>日本赤十字九州国際看護大学、  
<sup>7</sup>純真学園大学保健医療学部看護学科

13:00～14:20 K27 看護教育におけるフォレンジック(法)看護学の意義と学び方

○加納 尚美<sup>1</sup>、李 節子<sup>2</sup>、米山 奈奈子<sup>3</sup>、長江 美代子<sup>4</sup>、柳井 圭子<sup>5</sup>、  
三隅 順子<sup>6</sup>、梶原 祥子<sup>7</sup>、藤田 景子<sup>8</sup>、大屋 夕希子<sup>9</sup>、家吉 望み<sup>10</sup>

<sup>1</sup>茨城県立医療大学保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>長崎県立大学看護栄養学部看護学科、

<sup>3</sup>秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻、<sup>4</sup>日本福祉大学看護学部看護学科、

<sup>5</sup>日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科、

<sup>6</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、<sup>7</sup>帝京大学医療技術学部看護学科、

<sup>8</sup>静岡県立大学看護学部大学院看護学研究科、

<sup>9</sup>千葉大学大学院医学薬学府医科学専攻法医学教室、

<sup>10</sup>東京有明医療大学看護学部看護学科

14:30～15:50 K28 医療現場の暴力事件を防止するための司法看護の現任教育を考える

○三木 明子<sup>1</sup>、友田 尋子<sup>2</sup>、山田 典子<sup>3</sup>、日下 修一<sup>4</sup>、宮本 有紀<sup>5</sup>

<sup>1</sup>筑波大学医学医療系、<sup>2</sup>甲南女子大学看護リハビリテーション学部、

<sup>3</sup>日本赤十字秋田看護大学看護学部、<sup>4</sup>聖徳大学看護学部、

<sup>5</sup>東京大学大学院医学系研究科

第12会場(展示棟 会議室4)

9:30～10:50 K29 ポジショニングで食べる喜びを伝える POTT(ぽっと)プログラムの技術  
伝承

○迫田 綾子<sup>1</sup>、原田 裕子<sup>1</sup>、原 等子<sup>2</sup>、布澤 奈緒美<sup>3</sup>、山田 律子<sup>4</sup>、  
佐藤 浩美<sup>5</sup>、竹市 美加<sup>6</sup>、川端 直子<sup>7</sup>

<sup>1</sup>日本赤十字広島看護大学看護学部、

<sup>2</sup>新潟県立看護大学地域生活看護学領域老年看護学、<sup>3</sup>新潟県立柿崎病院、

<sup>4</sup>北海道医療大学看護福祉学部看護学科、<sup>5</sup>仙台市立病院、

<sup>6</sup>NPO 法人口から食べる幸せを守る会、<sup>7</sup>広島市立リハビリテーション病院

第3会場 (会議棟 萩)

14:30~15:30 N-AGORA 1

座長：前田 樹海 (東京有明医療大学)

NA-1-1 グローバル化戦略による個別看護の充実

○山川 みやえ

大阪大学大学院医学系研究科看護実践開発科学講座統合保健看護科学分野

NA-1-2 寄り添いの看護—倫理を知れば世界はもっと素敵になる—

○浦出 美緒

防衛医科大学校医学教育部看護学科

NA-1-3 SDGs 実現のために看護師のメンタルヘルスを考える—認知行動療法は世界を変えられるか—

○大植 崇

兵庫大学看護学部看護学科

NA-1-4 患者や家族の価値観を尊重する医療をめぐる意思決定プロセス：患者・家族の価値を尊重するとは

○井上 みゆき

山梨県立大学看護学部

第2会場（会議棟 橘）

10:30～11:30 N-AGORA 2

座長：酒井 郁子（千葉大学大学院）

- NA-2-1 精神保健医療福祉の中核的人材である精神看護専門看護師の養成と活用促進の必要性  
○松枝 美智子  
福岡県立大学大学院看護学研究科、福岡県精神看護専門看護師活動促進協議会
- NA-2-2 大学院修士課程 NP コースで特定行為研修を教育する意義をあらためて考える  
○村嶋 幸代  
一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会
- NA-2-3 ヘルスケア領域にダイバーシティ理念導入の意義  
○栗秋 良子  
社会医療法人 敬和会 法人本部
- NA-2-4 MASK-EDー隠れた教員によるリアリティの高いシミュレーション演習ー  
○寫田 理佳  
名古屋市立大学看護学部